

能登歴史公園(国分寺地区)休憩所・便所



休憩所 外観

能登歴史公園(国分寺地区)は能登国分寺跡地に隣接し、能登地域に散在する歴史的遺産を保全、活用した広域的な交流拠点である。歴史公園にふさわしい施設とするために、プロポーザル方式で設計者を選定し、休憩所、便所を整備したものである。

「一即多・多即一」をコンセプトとし、自然に相映することを表現しており、デザインは水平性、平面性、非対称性、清純簡素を基本として建物が設計されている。



■休憩所を兼ねた野外ステージであり道具倉庫や舞台裏の控室、舞台袖空間のいずれにも使えるスペース

- 水平性: 床・天井の「面」の延長
- 平面性: 桁行の延長による扁平性と伽藍的平面
- 非対称性: 妻側の形
- 清純簡素: 木・コンクリートの「素肌の形相」

DATA

⑤公園休憩施設
七尾市国分町地内
平成25年10月～平成26年3月
木造+RC造: 平屋建
延床面積173.7㎡



便所A 外観



便所A 外観



便所A 内部



便所B 内外



便所B 内部

■公園内の公衆便所。公園の自然を取り込むために開放的なトイレとなっている。
フロントガラスに囲われた中に、水庭とその島に樹木を配置し、水庭にはうっすら水を張り光を取り込んでいる。

- 水平性: ガラスの連続性・天井の「面」の延長
- 平面性: 桁行の延長による扁平性と加蓋的平面
- 非対称性: 妻側の形
- 清純簡素: 木・コンクリート・スチール・ガラスの「素肌の形相」



: 多目的トイレ(1箇所、音声誘導、オストメイト対応、介助用ベット)

DATA	
⑤公園休憩施設	
七尾市国分町地内	
平成25年10月～平成26年3月	
便所A	
木造+RC造:	平屋建
延床面積	102.6m ²
便所B	
木造+RC造:	平屋建
延床面積	80.3m ²